

研修カリキュラムの項目

第 1 「防災士」養成カリキュラム

1 災害発生のしくみ

- 地震（直下地震、海溝型地震、地震に関する最新の知見）
- 津波（東日本大震災、南海トラフ地震等の津波被害想定）
- 風水害（台風、集中豪雨、洪水）
- 高潮、竜巻、雷、豪雪
- 土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）
- 火山噴火、火砕流、溶岩流
- 住宅火災、ビル火災、震災火災
- 近年の自然災害のまとめと教訓

2 災害に関する情報

- 気象予報、注意報・警報・特別警報、土砂災害警戒情報
- 5段階の警戒レベル、避難指示、緊急安全確保等
- 安否情報、被害情報の発信・伝達・収集
- 災害報道、インターネット・SNSの活用
- 流言、風評被害
- ハザードマップの種類と活用

3 公的機関や企業等の災害対策

- 行政の平常時対策（災害対策基本法、防災計画、被害想定）
- 行政の災害発生時対応（災害救助法、救出救助、被災者支援）
- 危機管理の基本
- 復旧と復興（被災者生活再建支援法、仮設住宅、復興まちづくり）
- 災害医療（トリアージ、こころのケア、PTSD）
- ライフライン（電力、ガス、上水道、電話）、交通インフラ（鉄道、道路）の確保
- 企業の防災活動・BCP、地域協力

4 自助

- いのちを守る（応急手当、心肺蘇生法、AED）
※本項目については、救急救命の実技の講習を必要とする。
- 個人の平常時対策（家族防災会議、備蓄、損害保険）
- 住宅・建築物の耐震化（耐震診断・耐震補強、家具固定）
- 個人の災害発生時対応（身の安全、安否確認、初期消火、救助、避難などの要領）

5 共助

- 地域の防災活動
（自主防災組織、学校での防災教育・訓練、地区防災計画、事業所の防災計画）
- 避難所（開設・運営要領、物資調達・分配、役割班、在宅避難）
- SDGsの理念、要配慮者支援、多様性の尊重
- 住民が行う緊急救助技術
- 被災地支援・災害ボランティア

6 防災士制度

- 防災士制度創設の理念
- 防災士に期待される活動
- 防災士が行う各種訓練

第2 「防災士教本」目次

第1章 災害発生のしくみ

- 第1講 地震・津波による災害
- 第2講 気象災害・風水害
- 第3講 土砂災害
- 第4講 火山災害
- 第5講 広域・大規模火災
- 補講1 近年の主な自然災害

第2章 災害に関する情報

- 第6講 被害想定・ハザードマップ
- 第7講 災害関連情報と予報・警報
- 第8講 災害情報の活用と発信

第3章 公的機関や企業等の災害対策

- 第9講 行政の災害対策と危機管理
- 第10講 行政の災害救助・応急対策
- 第11講 復旧・復興と被災者支援
- 第12講 災害医療とこころのケア
- 第13講 ライフライン・交通インフラの確保
- 第14講 企業・団体の事業継続

第4章 自助

- 第15講 地震・津波への備え
- 補講2 耐震診断と補強
- 第16講 風水害・土砂災害等への備え
- 補講3 災害と損害保険

第5章 共助

- 第17講 自主防災活動と地区防災計画
- 第18講 避難所の設置と運営協力
- 第19講 地域防災と多様性への配慮
- 第20講 災害ボランティア活動

第6章 防災士制度

- 第21講 防災士に期待される活動
- 補講4 防災士が行う各種訓練